

第 24 回鎌倉市交通計画検討委員会専門部会（平成 28 年 7 月 28 日（木））等のアンケート調査等に関する意見への対応について

(1/2)

項目	意見	対応策															
言葉の定義等	「鎌倉市では、鎌倉地域に流入する来訪車両等への課金により」という文章があるが、「来訪車両」という言葉では、市民は対象外だという前提で回答してしまうので、単に「自動車」の方が良いのではないか	「自動車」としました。															
	アンケート上の鎌倉地域の定義は、行政区分上の鎌倉地域の定義と異なるので、本計画における鎌倉地域ということを確認にするか、単なる「地域」等別の表現でも良いのではないか。	この調査での鎌倉地域としました。															
調査方法	来訪者のアンケートは紙ベースで行う以外に、インターネット等を活用しないのか。	WEB アンケート調査は、回答者の偏りや平成 8 年調査との比較のしづらさ、準備期間が短いことから、今回の実施は難しいと判断しました。															
	平成 8 年に行った既往アンケートの回収率はどの程度で、それを踏まえて今回改善している点は何かあるのか。	平成 8 年に実施したアンケート調査の回収率は以下の通りです。今回も同程度の回収率をめざすことから、平成 8 年と同じ方法で実施します。 <平成 8 年実施> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>配布数 (票)</th> <th>回収数 (票)</th> <th>回収率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民アンケート調査</td> <td>5,198</td> <td>1,944</td> <td>37.4</td> </tr> <tr> <td>事業所アンケート調査</td> <td>1,042</td> <td>280</td> <td>26.9</td> </tr> <tr> <td>流入車両アンケート調査</td> <td>6,355</td> <td>1,147</td> <td>18.0</td> </tr> </tbody> </table>		配布数 (票)	回収数 (票)	回収率 (%)	市民アンケート調査	5,198	1,944	37.4	事業所アンケート調査	1,042	280	26.9	流入車両アンケート調査	6,355	1,147
	配布数 (票)	回収数 (票)	回収率 (%)														
市民アンケート調査	5,198	1,944	37.4														
事業所アンケート調査	1,042	280	26.9														
流入車両アンケート調査	6,355	1,147	18.0														
	駐車場アンケート調査の対象は収容台数の多さだけでなく、駐車場と観光スポットの配置等の空間条件も含めて選定を行う方が良い。	調査箇所は収容台数と来訪者の多い施設の視点から特定の地域に偏らないよう抽出し、その中で協力が得られた箇所を調査対象としました。 【収容台数】 自動車の流入台数は過去の調査から約 1.5 万台であり、アンケートは統計上 375 票必要。回収率 20%を見込んだ場合約 1,900 票の配布が必要。アンケート配付対象案の 20 箇所の駐車場の収容台数は 856 台であり、2~3 回転すれば必要配付数に達すると考えられます。 【来訪者の多い施設】 鎌倉市の観光事情（平成 27 年度版）における 9 月の来訪施設で最も多いのは、高德院（大仏）であり、以下、鶴岡八幡宮、長谷寺、円覚寺、建長寺、鎌倉海岸等が続きます。															

項目	意見		対応策
質問項目・ 内容	(仮称)鎌倉ロードプライシング	ロードプライシングを知っているかの質問を加えて欲しい。	「鎌倉市でロードプライシングを検討していることを知っているか」の質問を加えました。
		ロードプライシングに賛成か反対かの質問を加えて欲しい。	内容が十分に認識されないまま、是非を問うと誤解を招く恐れもあるので、今回は、質問を追加していません
		鎌倉市で考えているロードプライシングのメリットとデメリットを説明する資料が必要である。	資料を作成しました。
		ロードプライシングを実現するために、本アンケート調査で何を明らかにするのか、アンケート設問の意図がわかりにくい。市民への認知度を高めていくと同時に、具体的な課金額の設定をどう考えるかなどが重要になる。	意見として伺います。
その他		今回のアンケート調査によって、ETCの普及状況を把握するというのは難しく、あくまでも参考値ではないか。	調査結果をそのように扱います。
		来訪者アンケートで、パークアンドライドや鎌倉フリー環境手形などの市の施策を知っているかいないかだけでなく、意欲的に参加したいか、あるいは参加しないのであれば、あるいはどのような課題があるかなど、もう少し踏み込んで聞けたら良い。	平成24年に実施した市役所駐車場、平成26年に実施した駐車場アンケート調査において、施策を知らなかった人の利用意向は確認済みです。平成24年に実施したパークアンドライド利用者アンケート調査において、駐車時間の延長や駐車場の増設等の改善点は確認済みです。以上のことから、今回の調査では追加していません。
		事業所アンケートの対象は、どのように選ぶのか。	ホームページ等から鎌倉地域の事業所を選びます。
		※各アンケートについて、性別、年齢等の属性の質問を追加した方が良い。	追加します。